

日本細菌学会・東京大学食の安全研究センター共催 市民公開講座

「国際交流時代の食の安全対策-オリンピック・
パラリンピックを迎えて我々がやるべきこと」

2019年の入管法改正、2020年のオリンピック・パラリンピック開催などで海外から多くの方々を迎えるのにあたり、食を介した感染症が増えることが想定されます。我々はどのようなことに注意すべきか、考えてみたいと思います。

1. 腸管出血性大腸菌感染症

日本微生物研究所 専務取締役検査部長 佐藤寿夫

2. ノロウイルス感染症

東京都健康安全研究センター微生物部部長 貞升健志

3. キャンピロバクター、サルモネラ、ウェルシュ菌感染症など

東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター所長 関崎 勉

4. 環境、食品、動植物など多様化する耐性菌の広がりとその対策

東京女子医科大学 感染症科教授 菊池 賢

入場無料 事前予約不要

日程 2019年12月22日(日) 14:00~17:00 (開場13:30)

会場 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部 1号館 8番教室

東京メトロ南北線 東大前下車1分

問い合わせ：日本細菌学会事務局: gakkai23@kokuhoken.or.jp

後援：日本微生物研究所

